

基 本 理 念

【 豊かな水環境が育む 自然と人にやさしい杜の都の創造 】

仙台地域においては、古来、広瀬川をはじめとする河川、さらには市内を縦横に巡る水路により、水辺と緑が一体となった都市景観が形成されたほか、人々の暮らしにおいても「水」と深くかかわってきました。しかし、都市化の進展等により、こうした水循環に弊害をきたしています。

健全な水循環の再構築のため、さらには今後の、より豊かな水循環の保全を目的に、山から海まで市域全体を視野に入れ、関係する行政はもとより生活する市民一人一人が「良好な水循環形成の重要性」を絶えず意識し、実現に向けた取り組みを持続することが大切です。

